

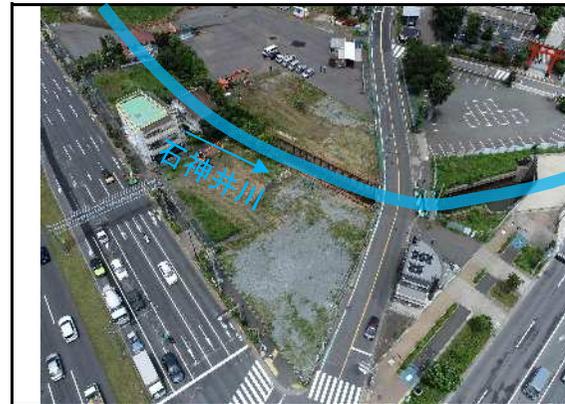
【件名】	石神井川整備工事（北その10-3）	【事務所名】	北多摩南部建設事務所	
【工事場所】	西東京市柳沢一丁目地内 石神井川	【受注者名】	巴山建設株式会社	
【工期】	令和6年3月7日から令和6年11月29日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 舎川貴志	

【工事概要】

本工事は、石神井川河川整備計画に基づき、1時間あたり50mm規模の降雨に対応できる河道の整備を目的とし、石神井川護岸（工事延長約30m）において鋼管矢板打設工、仮切回し道路等を施工したものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

- ・太陽光を利用した監督員詰所の設置や低炭素アスコンの積極的使用等のHTTゼロエミッションアドバンス工事実施、ICT施工、CIM三次元モデルによる架空線との干渉確認、VRゴーグルを使った安全教育等、新技術を積極的に導入し、安全かつ効率的に工事を進めた。
- ・緻密な工程管理により左右岸同時施工を効率的に実施し、クリティカルパスを短縮させ、工期より10日早く完了した。
- ・設計図書の入念な照査により、排土飛散リスク等の課題抽出を多数行い、最適な対策の実施により、トラブルなく施工を完了した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

職員平均年齢が23.5歳と経験が浅いため、住民対応や新人教育に苦労した。
（熟練技術者による現場の巡回指導や、施工方法の工夫によって対応）

◇ 特に工夫した点

民家に近接した場所での鋼管矢板打設（中掘工法）の際、排土の飛散防止対策について、排土速度調整、飛散防止シート、民家前養生シートの三重の対策を実施した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

現場周辺の草刈り、ゴミ拾い等の地域とのコミュニケーションを積極的に行っていたので、周辺住民や通学児童、学童擁護員から感謝と応援を受け、大きな達成感を得た。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業の高齢化が進む中、平均年齢23.5歳の現場を完遂し、若手の力でも社会貢献が可能であること



鋼管矢板中掘杭施工中